（八日夕刊）

磐城新聞

休刊日 大祭第一第三日曜日
定價 壹枚二錢 壹ヶ月五十錢 郵稅拾錢
廣告料（雜報際一行五十錢 場所指定二十錢增）
發行兼編輯印刷人 遠沼龍輔
福島縣平町田町拾六
發行所 磐城新聞社 電話五六四番

浪漫主義に就て

相良守峰

ロマン主義といふ言葉ほど、ばく然としてその意味の捕そくし難いものはあるまい、我々ドイツ文學を研究するものにとつては殊にその感が深いのである。始めは十八世紀末から十九世紀にかけて、即ち古典主義の山から自然主義の湖にいる一條の流れに過ぎないと思はれたものが。深く探りゆくに從つて山谷閒を傳ひ樹下石底を縫て、ドイツ文學の全領域を浸とうしてゐるのを發見するのである。こゝに至つて我々は一體ロマン主義とはなんのいひぞやと、いびたくなつてしまふ、ロマンチックといふ言葉は今日我々が今更その意味をせん議する必要のない程、日本語同樣自由にこれを使用してゐる、だが何人がこれに完全な定議を下し得るであらうか、ドイツ文學史上にいふ所のロマンチツシエ・シユーレに關聯してはたゞ一般にロマン主義といふよりは具象性に富んで居るが故に、説明の方法もあるひはより容易であらう從つて敢てこれに定義を下すだけの冒險をおかした入――主として文學史家――が幾人があつた。然し私はこゝにそれらの親切な人々の偏狹な定議を一々紹介する氣もない。

×

それは讀者を益することが甚だ少いであらうことを私は恐れるのである例へば、の實際の浪漫派文學にしてもその描く處が必ずしも普通に云はるゝやうに魂は神に、身體は君主に、心臟は婦人に、名譽は自己に捧げたといふ中世の騎士生活であつたとは限らないし、また魂の避難所が必ずしも莊嚴神秘なるカトリツク教であつたと云へなせて考へらるゝの結果、ロマン主義は理想主義と同一視される傾きもある、兩方ともロマン主義の一面の趣は傳へて居るがなほ盡さないこと遠いと思ふ、然し前にもいつた通り、このばうばくたる語の意義は千言萬語の抽象的説明をもつてしてもなほ全へうを傳へることも難いのであるから、そんな企ては私はもつてゐない、たゞ、ロマン主義の核心をなすものゝ一として私はこゝにオスカー、エーワルトと共に『無限へのどうけい』を擧げたいと思ふ、無限なるもの絕對なるものに對する思慕に驅られてロマンチエストは久遠の旅路に迷ひ出てるのである。ケーベル博士は絕對なる理想、イデヤの世界への追求に目ざめたる最初の人としてソクーラテスこそはロマン派の元祖であるといみじくも道破したこの點をよそにしてロマン主義は理解され得ない、青い花を求めてさまよひゆくノヴーリスの『ハインリヒ、フオン、オフターデンゲン』はいはずもがな久遠の女性を尋ぬるために百の戀を漁つて彷徨ふドンフアンもたゞ一人の戀人を守つて我々の涙をそそう道化者『悲しき姿の騎士、ドンキホーテ』も否アイヒエンドルフの『のらくら者の生活』やフリードリヒ、シユレーゲルの『ルチンデ』などに見ゆるらいだの讃美さへもこゝに計釋のかぎがあるのではなからうかさう見てくるのでなければ私にはロマンテツシテ・イローニーの何物であるのかすらわからなくなる

磐新顧問

（照會を歡迎す）

●●●●● 夫が道樂者で　廿六歳の女ですが、夫は道樂者で家には少しも居付きません、私は一人で或食べ物屋をして居ますが、末の事を考へると心細くなります、此際いつそきつぱりと別れてしまはふかと思ひますが如何でせう（一女）

性質の然らしむる處なのか、それとも夫婦間に何かの故障があるのか原因であるか判りませんが、離婚は輕々しくすべきものではありませんから。家大事と今一と辛棒なさる方か御爲めと思ふ、但し離婚は絕對いけないといふのではありません、相當の理由さへあらば止むを得ません、どの道御兩親又は御親戚ともよく／＼相談なさる事が肝要です

●●●●● 物覺えが惡くて　或稼業の家にゐる女ですが、どうも物覺わが惡くて居づらく思つて居る上に、毎日やかましく云はれるのでつらくつてなりません、他に轉じた方がよいでせうか、昨今氣がふさいでならぬのです（迷ふ女）

生れつきなのか、或は鼻に故障でもある爲めではないかと存じます、一度鼻治療專門の醫師の診察を受けて御覽なさい、他に轉じても果してよいかどうかゝ疑問です、今迄通り辛棒なさる方が將來の爲めと思ひます

●●●●● 七月十日徵兵　檢査の者ですが、鄕里までの往復汽車賃を區役所から頂けるとか聞きましたが、其手續は如何したらよいでせう、下谷に寄留して居り檢査執行通達書は來て居ます（田中）

區役所にお出になり、兵事係にお話しなされればよいのです

※明日の吉凶※

舊曆五月十日　新曆六月九日

▲一白 人の世話事は斷り得らるゝだけ斷るがよし▲二黑 多少の骨折はありとも自然の增收あるべし▲三碧 實力を顧みて過大なる事に手を出せば失敗▲四綠 獨斷にて事を處する時は失敗目上に謀るべし▲五黃 物事急には運ばざれども末遂ぐる平和の日▲六白 投機業を除きての外は何事も進んでよき日▲七赤 止まるよりも進むを先にすべき日旅行は凶▲八白 内輪に爭なき樣和合を主とすれば吉なる▲九紫 幸運に向ふ日心圓滿なれば尤も早かるべし

講談

血で血を洗ふ（56）

高橋搠太郎創作
布施八郎揮毫

敗將の涙

その日も暮れた。成昌主從十騎は態と道なき山中を辿つて駒を急がせた。熱苦しき夏の盛り陽は西山に傾いてもむされるやうな熱氣が踏み分ける草の中から濛々と立ち昇つた。殊、一杯の水を汲む隙とてない敗走の人々は額から血のやうな汗が流れた。

西の空は血のやうな夕燒けの色それを見るからに成昌はじめ人々の胸には昨夜から凄慘な戰場の光景が眼の前に新しく浮かんだ。

これが戰ひに馴れた人達ならば左樣に痛切に感じもしないであらうが生れて初めて實戰に臨んだ人々だけに物凄い矢叫びがいつまでも耳にこびりついてゐた瀧の如く流れて草木を染めた血汐の色がいつまでも眼の底から消ゑなかつた。

殊に血のやうな夕燒の色を見てはまざまざと戰場の光景が新しく眼の前に描かれるのであつた。

熊笹を踏む音蜩の聲そして空を彩り雲を染め地上の草木を燒いて居た殘照がやがて煙のやうに消えて行くあたりが次第に黃昏の色に包まれて行く人々の心には生れて初めて味ふ身を刺すやうな哀愁が迫つた。

それは戰場に殘つた人々のことが思ひ出されたのであつた。武士が一旦戰ひに臨んだなら生きて歸れぬのと云ふ覺悟は誰にもあらう。しかし敗れて落ち行くを誰が望むであらう。

血汐の川の戰場に無慘に横はつてゐる親しき人々屍の山がはつきりとめに見ゆるやうな心地がするのであつた。

『濟まない事だどんなに敗軍を無念に思つて死んだであらう』

と十騎が十騎同じやうな思ひに身をば斬られるほど痛ましく感じた。そして熱涙が思わず鞍の上に落ちるのであつた。

日は全く暮れた。日の出はをそくあたりは塗りつぶされたやうな暗みその中を默々として十騎は進んだ。けれど晝とちがつて人目につかないだけ幾分心が休まるゝ思ひで漸く流れる汗を拭つた。そして樹々の梢から些かながら涼しい風が流れて來た。さらさらといふ小川の流れ

『たゝ川があるやうぢや一休みして行かう』

と成昌が聲をかけた

『はつ――』

と答へて一同が駒を留めた。

『疲れたであらう？』

と部下を愛する成昌はかうした際にも思ひやる心を忘れなかつた。

『何んの――しかし主君には定めし御疲勞の事と存じまする』

忠義な武士達だけに自分の苦痛より主君成昌の心中を思ひやつて痛はしく思ふのであつた。

『いや余は大丈夫ぢやが余の腑甲斐なさから多くの部下を殺し其方達にも死にまさる苦勞を掛け濟まなく思ふぞ』

『何んと仰せられます。勿體ないお言葉我々こそ主君の御心中をお察しせば何んと申しあげてよいか判りませぬ。主君の御爲めには水火も辭せぬ我々苦勞などとは夢にも思ひませぬ』

一同は成昌の臣を思ふ情に感激して云ふのであつた

『そのやうにまで余を思ふてくれるか辱けないぞ』

主從は又しても執り合はんばかりにて涙を流した。

さあ水を汲んで食事を致さう。もう此處まで來れば大した案じることもあるまい」

と成昌は第一に馬から降りた。つゞいて一同が降りるとかねて用意の握り飯の包みを腰から解いた。

成昌は戰端に臨んだ日から毎日一日分の握り飯を取り替へ替へして腰につけさせてゐた。また鞍壺には小量の米と味噌の包みを附けさせてゐた。

折柄東の空に日の出の游明り。

株式賣買

諸株式の賣買に應じます
取引は迅速を第一とします
取扱は親切を旨とします

謹告

株式現物賣買
平町田町六八
駒場四郎商店
電話四六五番（カネ）
電略 ヌハ（コ）
（電話高價に買入した）

土地賣買金融の中介をします

平町紺屋町
吉田眼科醫院

仙臺高等工業學校長試驗證明
鐵道省御指定
福島縣廳御指定
[illegible]
萬壽店

營業品目
絹糸、絹紡績
綿糸、染糸、組紐
漁網糸、人造絹糸
カタン糸、輸出用加工糸
與綿、其他糸物一式

東京市日本橋區通油町
株式會社 藤掛商店
電話浪花三五一二番
振替東京三三四〇番

糸界の羅針盤糸紐通報
御一報次第直送

小店員募集
十五才以上十七八才迄 五名
小學校卒業程度御希望の方方は磐城新聞社御出で下さい。委細面談

懇切迅速勉强は
弊店のモットーであります

磐城銀行御指定
ケーテー洋服店
平町材木町
高野幸一

夜間診療

胃腸
内科
十二指腸虫病
專門
内科部

梅毒
淋病
婦人病
包莖
肛門病
專門
外科部

平南町
松村病院
電話七〇一

◎徒弟入用
徒弟契約ニ付テハ年明キニ際シ有利ニ御相談申上候

數回金牌一等賞受領
磐城國平町
草野染工場
電話三四八番

入院隨時（自炊の便あり）
耳鼻咽喉科專門
大和田醫院
平町南町（電一七〇番）

新館陳列 六月一日より
◎昭和式中形
◎昭和式手拭中形
◎名古屋しぼり
是非御覽を願ひます

三井呉服店
平町三丁目
電話三十八番
夏物豊富取揃へ申候

平町田町
高久病院
電話五一三番
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄
内科小兒科、
外科花柳病科、
耳鼻咽喉科、
レントゲン科、

外科
赤心堂病院
X光線科
外科、耳鼻咽喉科
內科、泌尿器科
平町字田町
電話四七五

底にソコのあり相な 發電所側の空ッ騷ぎ

俄か愛町の士を押し賣りして 來る九月の縣議戰の地盤作りか

町民は冷靜に事理を解せ

平町の大瀧發電所問題は發電所側が執拗に平町と小田炭礦が協調して圓滿裡に發電所を設置せしめよと迫り愛町正義團その他の名を以て演說會を開き或は宣傳ビラを撒布する等寧日なき活動を續けてゐるが去る六日の町會に於て吉田五平氏外三名の町議より提出した建議案が二十四對四の絕對多數を以て一蹴されてより取り付く島もなく、更に昨七日午後六時より平劇場所謂町民大會を開き四日聚樂館に於ける決議と同行異曲の即ち「伏見町長並に水道委員は責めを引いて速かに辭職せよ　而して平町は小田炭礦と協調して發電所を設置せしめよ」なる決議を齎らし江尻二三郎外四名は今八日午後三時伏見町長の手許まで右決議文を提出した、而して兩問題は行政訴訟の判決か決したから直ちに解決する問題ではなく、發電所側として當然平町に泣きを入れ屈辱的如何なる條件を容れても我を折らねば幾年經るとも發電所の設置は出來得ない事でそれは疾ふから判りきつてゐるが石城憲政會中一部の者等は寧ろ來る九月の縣會議員選擧に際し下より某一名を擁立する下準備として今回平町が行政訴訟に敗れたのを切つ掛けに自ら以て一角愛町の士なりと叫び此のごさくさに紛らし自己の勢力を張らんが爲めの底に底のある陰謀手段である事素より疑ふ餘地なく、隨つて今回單に平町が敗訴した事によつて發電所側の主張が徹頭徹尾町の爲め有利なるものなりと誤信するものあらば夫れは彼等の術數に陷るもので平町が發電所側と妥協せんとせば更に詳密なる研究を重ねての上で遲くはないのであるから訴訟に敗けても發電所設置に對し絕對的活殺與奪の權を握る平町民は斷じて彼れ等の讒言に惑はされず冷靜に善處する事が必要であると一般町民の觀測である

勿來校新築

低資借入に決定

石城郡勿來町にては過般町會を招集して小學校を新築す可決定し豫算七千七十圓を可決したが之が財源三萬圓は低利資金を借り入れ殘額一萬七千七十圓は大正十四、五の兩年度中の積立剩餘金を以て之に充當する由

案外の好成績で 櫻桃出廻り初む

梨や桃も上々作で

郡農會熱心指導

本郡唯一の櫻桃產地として知られる大野村今年の櫻桃も本縣の信達方面からやや遲れて昨今漸く出廻り初めたが今春の開花時より落花時の天候不順なりし爲か本場物に比較して色澤も幾分見劣りあり收穫も前年より減ずる狀態であるが右に就いて郡農會は「果實栽培は一般農作物と同樣氣候風土の影響を受ける事甚大で一番大切な開花時落花時の氣候が今年の樣に不順であれば不作は當然で當業者は勿論農會としても櫻桃に對しては餘り期待はして居なかつたが昨今の出廻りから見て豫想以上の出來榮である、此れは當地方が果實栽培に最も好適である證據で近く出廻り初める梅、桃、梨を始め其の他の果實は前年以上の收穫を見る事が出來るものと豫想してゐるが一般農家は果實栽培を本業として成功出來得る可能性が充分で農會當局としても數年此の方果實栽培の有利な事を普及宣傳してゐる、兎に角櫻桃が不作であるからと一般果實の作柄を憂慮するのは早計で目下の天候が長續きすれば前年以上の豐作を觀るものと豫想してゐると語つてゐる

非は汝にあり

先づ自ら職を辭せ

今、平町民は迷つて居る。大瀧發電所問題が町の敗訴になつた結果再び爭ひを續くべきか？それとも妥協し樣か？敗けた事に依つて問題をこれで打切るか？と三種三樣の考へに迷つて居るのである。往年に於けるあの騷ぎを知つて居る者は大瀧發電所設置に反對する事は、平町民の輿論であると見ねて良かつた。而し今日の結果は明かに平町が敗けてゐる、町民の輿論が、少數の即ち營利のために自治體を賣らんとする異分子の策動に蹂躪されて了つたのである

敗訴の悲報を手にした町民の大半は、この悲報が相手方に取つては喜びのしらせで萬歳を叫んだ事を知つた、形も無い愛町正義團の名義で町長の辭職を町民に訴へ出した事も批判演說會と銘打つて、その實我田引水の宣傳演說をなした事すべては或一派即ち大衆の利益、町百年の計畫を破り自戶の利益のために事を行はんとしてゐる、憲政會一派の者の策動である事を知るに至つた、この策動に憤慨し出したのが反對期成同盟會で、平町に再び遂に多數の犧牲者まで出だした往年の騷ざに逆戾りした。

斯うした騷ぎを起した責任は誰が負ふべきか？敗訴の責任は町長が負ふ事も理由があらう、而しそれよりも、この騷ぎが起きた原因敗訴になつた原因は一体誰が造つたのだ。平町に住み平町の將來を安ずる立場にある者町民の意思を代表して町議に參與する者が若しこの騷ぎを誘導、起因を造つたとしたらその人々は當然責任を感ずべきである。平町を賣らんとした事、平町民に不安の念を與へた事平町の歷史に汚辱を加へた事、等々、その責を負ふには充分なる數々の事實があるではないか。

一營利會社を設立し自己の利益のために發電所を起すべく、三萬町民の意思を蹂躪し一般に恐怖と杞憂の念を與へた當面の責任者にして現に町議の榮職にある野崎、萩原、吉田の町議に對し吾人は速かに辭表を出し罪を社會に謝す事を、人間的良心を持つものと見てに獎めする。尙ほ最後に、自治体と言ふ公共の利益を圖る團体と、營利を目的とする、一電氣會社とを比較して考へる事が過りであり而も、營利會社を重大に考へる事は過ちも最たる事である事を御知らせする。非は汝に有り、過ちである事を知るために猛省の必要が充分にある（愛町の士）

本郡下の 今年度豫算

前年より減額

石城郡に於ける本年度各町村豫算を合計して見れば大体左の如くで前年より幾分の減額を示してゐると

（役場費）二四二、四八九圓（會議費）一一、四三九圓（小學校費）五九〇、二六二圓（青年訓練所費）九八〇四圓（補習學校費）三八、二二八（勸業費）四、四二六圓（地方改良費）一一、二五三圓（其他諸費）一五八七、〇一二（以上）

販賣利用組合が 不正繭商を征伐

惡い宣傳を試みて

事業發達を阻害

有限責任石城郡販賣利用組合の公設四ツ倉繭市場は愈々十六日から開始される事となつたが市場開設により打擊を蒙る不正仲買商等の中には之れに向つて各種の惡宣傳を試み市場利用者を少からしめんとするが如き手段を講じ健全なる發展を阻止する樣な實例があるので同組合ては左の如き獎勵方法を設け印刷物として各町村長及び蠶業組合等に配布した

一、當業者の爲に昨年は陸前黃金山神社に御祈禱して出荷組合員には（みのなる金）の尊き財布を進呈したり

二、本年は蠶の神縣社子鍬倉（稻荷）神社に於て大量萬作の御祈禱をなしたり

三、優良繭を出荷して最も高價に販賣したる當業者には優賞旗を授與して精勵を賞する事としたり

四、出荷者には組合市場を表示したる景品を贈呈する事としたり

別莊地に化る 小名濱海岸

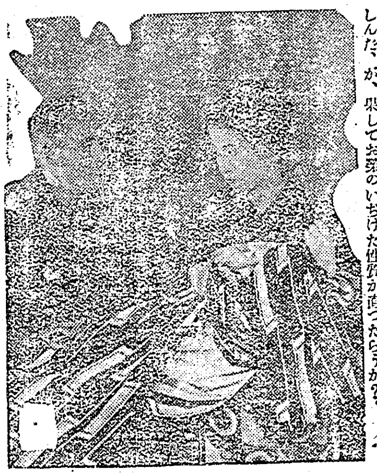
地價も奔騰

中小鐵道或は商港などの國家的施設と水產工業、捕鯨業地乃至大敷などの個人的企業等のため近來著しく開發の途上にある小名濱町では近來測候所附近その他官有地の拂下を受け別莊を建築すべくその筋に出願するもの少からず既に決定の分二三にして止まらざるに加へ當局に於て目下雜種財產として編入すべく調查中のもの若干面積あり之等は夫々希望によつて拂下の方針であると云ふから玆數年の後にはこの邊一帶の別莊地化は蓋し既定の事實と觀られてゐる

すね者

◎松竹蒲田映畫◎佐々木清野主演◎家庭の人（佐々木清野のお葉、野寺正一の甚兵衞老人）

淺ましい掏摸の群に入つたお葉は、刑事の追跡にあひ逃れて荷物列車へ忍び乘つたが、再び發見されて列車から突落とされた、其處は都から離れた村里であつた、空腹の餘り盜み食ひし樣とした辨當は甚兵衞老人のものであつた、優しい老人はお葉を救つた、丁度お葉と同じ年頃のお里と云ふ孫娘に家出された老夫婦は心からお葉を慈しんだ、が、果してお葉のいぢけた性質が直つたらうか？



不審男逮捕

平署嚴重取調

內郷村大字綴飯食店山岸文方で去る廿八日酌婦數人を集めて豪遊を極めた擧動不審の男あり平署では某重大犯人と目星を付け其の後引續いて行方を嚴探中昨七日夜八時頃平町を徘徊中捕へられ目下嚴重取調中であるが此の男は長野縣生れ強盜前科一犯米窪幹藏と自白したのみで一切口を噤して語らないが平署では當初の目述り相當の獲物と睨み指紋を取つて各署に照會中である

新舞子に 迎客の設備

保勝會が斡旋

平營林署では石城景勝地新舞子の濱安勞風致の保存に力をそそぎ松原附近に砂防工事をなすと共に松のまばらな所へ黑松を植ゑたが近く四倉町、大浦村、草野村の保勝會では林間に休憩所や茶店を設け遊覽客の便宜をはかる筈である

苗代品評會

上遠野組合村で

上遠野、入遠野兩村聯合苗代品評會は既報の如く昨七日までに郡農會大山技師の審查を了したが總出品點數二百四十九點（中入遠野百三十上遠野百十九）受賞者は一等二點二等十二點三等二十六點四等五十七點計百七點である

下水の汚物に惱む 平町の裏街路

そんな筈はあるまいと

町當局斯く辯明

平町役場では夏季に入つたため市內の下水から惡臭を發し衞生上觀過出來得ない狀態にあるので過般から町內全般に亘つて道路人夫を督して下水路の掃除中であるが此の下水路掃除の結果道路人夫が下水路から掃き上る汚物や腐敗泥土等を道路上に拋棄するため下水路に添ふ通行路は此等の汚物が山積し通行人非常な迷惑を感じてゐるが右に就いて平町役場の係員は下水の流れをよくするためにする掃除に町民から迷惑がられる樣な事は想像も付かない汚物や泥土などが乾いてから一定の地域に棄ててゐるから別段不衞生的だとも考へてゐないと語つて居るが町當局が此んな風に衞生を考へてゐるとしたなら由々しき重大問題であるとして或一部の人達の間には異論が高まつてゐる

劇と映畫

平館—河部五郎主演第二回「照る日曇る日」八卷海洋活大劇「海國男兒」八卷學生角力大活劇「勝利の前に」六卷その他明九日より全部差替へ好評

平劇場—八日より千本家靜一行男女二十數名乘り込み各種色ものを取りませて大人氣入場料大人二十錢小人十錢

日本勞農黨 磐城支部發會

來る廿日頃に

日本勞農黨磐城支部の發會計劃は過般より夫れ〳〵進められてゐたが來る二十日頃發會式を擧げる事となつた

政府が金を出して 鮫川堰の復活

工費三十万圓の豫算で

關係地元民喜ぶ

石城郡の鮫川堰は明治卅六年六百九十町步を灌漑の目的で工事を行つたのであつたが工事が粗漏で折角出來上つても使ひ物にならず、この爲め關係町村は莫大なる借金を負ひ今に每年二千八百圓宛縣から補助を得て負債を償還して居るのであるが過般農林省の川原技師が出張調查の結果このまゝ捨てゝ置く時は結局何にもならぬと云ふので政府が補助して復活せしめることゝ決し目下同堰の管理者伊藤務官の手で立案中であるこれが復活工費は大體卅萬圓の見込みであるが政府から年額の補助があり縣からも相當補助する筈なので地元民は約十萬圓を負擔すればよい因に地元民の前回に於ける負債殘額は約六萬圓である

かみくづ

新田町品澤の女將おあく婆さんが宣ふて曰く……「今の藝者なんさあ、丸でなつて居ない、昔は御神燈をぶら下げて水洗ひに淨めた入口に盛鹽をしたものサ、お座敷が掛ると波の花が三方に平を合せると切り火に送られて褄をとる寸法サ▲飾り窓の陳列のようにブラ下げた帶の後から七三に尻を端折つたイナセな箱屋が長箱で送らうといふ豪勢なものだつた▲然るに何ぞや當世はスカートなんて妙なものが流行り出したのはまだしも藝妓が毛糸の都腰卷をたくしあげるに至つては嗚呼世は末で御座んすわネ、誰だ長生すれば恥多しか、へ釘の頭は引つ込んでろなんて言ふのは。

時言

平町が大瀧發電所設置に反對する所以のものは上水道の水質惡化及び取水上の不安と危惧に因るものである

□

然るに行政裁判の判決は三萬町民の要求する問題の核心に觸れてゐない。即ち同判決は知事の與へた水利權の合法を立證したのみである

□

平電氣會社の握る水利權がたとへば合法的であつたとしても、上水道に與へる危害が根絕されない限り平町は絕對に反對するの道理である

□

故に發電所側が眞に平町と協調を希望するならば一步退いて義務的觀念から許に町民の納得出來得る確認を擧げねばならぬ

□

徒らに挑戰的態度を以て理爭者を威壓し、町民を欺瞞するの行動に出づる事は寧ろ問題を紛糾せしむるのみ幾何ほどの利益もあるまいでないか

上田外科醫院

勇往邁進豪氣堂々三大映畫提供
說明……一平、宝泉、谷、[illegible]、[illegible]
伴奏……石川、淺田、王江、安部、佐藤
番外喜劇 千金の夢 全二卷
弘道館四段 特別角力選手 淺岡信夫 主演
學生角力大活劇 勝利の前に 全六卷
岡田嘉子、辻峯子……助演
河部五郎 主演　大佛次郎 原作
第二回 照る日曇る日 八卷
大河內傳次郎　櫻木梅子　川上彌生　澤村春子　助演
水產講習所出身スポーツ 廣源恒美 主演
海洋大活劇 海國男兒 全八卷
砂田駒子、高木永二……助演
六月九日ヨリ映畫御案內　平館

柳川
御一人前 四拾錢
出前迅速
本年も相變らす御最負の程願ひます
石川亭
平町田町（電話四三番）

內科。外科。婦人科。
小兒科。花柳病科。
磐城病院
平町田町本通り
入院隨時（電話一一四番）

のんですぐきく
クノー散
神經痛、頭痛、ロイマチス、齒痛、肩のコリ、其他疼痛時服用すれば奏効的確なり
論より證據直ちに試みられよ
定價 二十錢、三十錢、五十錢、一圓
平町各藥店ニテ特約販賣致します